



大山郷づくり協議会組織再編

4つの部会で再出発します

19地区のまちづくり協議会

就任のごあいさつ

会長 斎藤邦彦

篠山市では、旧村（小学校区）単位のまちづくりを目指しています。昨年度、篠山地区にまちづくり協議会が誕生し、市内19のすべての地区に住民によるまちづくり組織が出来上がりました。

まちづくり協議会では、地域内の暮らしの安全（防犯・防災）や福祉、子育て支援、地域の活性化などに取り組もうとされています。

実は、篠山内で一番早くにできたまちづくり協議会は大山郷づくり協議会なのです。平成4年には今の組織になっています。大山は、昔より地域づくりが盛んだったようです。

19年ぶりの大きな再編

しかし、20年近くたつといろいろな問題も出てきました。地域の課題が多くなるに従って役員さんの負担が大きくなりすぎてきたのです。

そこで、2年ほど前から協議会内で「組織を見直さないと大変だ。」ということで皆さんの知恵を集めて再編に取り組みできました。そして、5月23日の総会で、地域の皆さんが参加しやすく気軽に活動できるように斎藤邦彦新会長のもと、4つの部会をもつ新しい協議会に生まれ変わりました。

ふるさと自立計画モデル事業

旧大山保育園を改修

平成17年度より使われていなかった旧大山保育園を活用に向けて改修することとなりました。外観のおもむきはしっかりと残しながらトイレや水回りなどの最低限の整備（事業費約300万円）を計画しています。兵庫県の補助事業が確保できたので7月からひと月程度の改修工事に入ります。

大山郷づくり協議会が組織を再編しスタートいたしました。

大山には、先人が守り育ててこられた豊かな自然が沢山あります。地域資源や自然環境を地域の皆様の考えや想いで活用し、魅力ある大山にしていきたいと思っています。「生きがい・ふれあい・助け合い」をスローガンに掲げ地域住民の皆さんそれぞれがコミュニケーションを取りながら地域の活性化を進めていこうではありませんか。会報を発行し、皆さんに地域の状況や、郷づくり協議会の事業、各部会の活動など、地域の動きをお知らせしていきます。

また、旧大山保育園舎を地域のコミュニティセンター的な施設として再生活用していくために準備を進めております。

「安心・安全・環境部会」「元気な地域づくり部会」「地域産業・振興部会」「福祉部会」の4つの部会を設置しました。各々の部会は、自主的に事業・活動ができます。そして大山地域の住民全員が郷づくりのメンバーです。大山のためにいろいろなアイデアや知恵を提供していただきたいと思っています。

微力ながら私も地域の一人として活性に努力していきたいと思っています。ご指導ご協力よろしくお願いたします。

改修後には地区外から協議会会員になっていただいた木工作家の吉竹さんたちに賑やかになるしくみとして、木工工房やカフェ（喫茶）の運営もお願いしていきます。

吉竹さんには協議会の事務のお手伝いもしていただきます。次号では顔写真を載せてご紹介させていただきます。

郷づくり協議会 新役員の紹介

会長 斎藤邦彦
副会長 俣野耕作

事務局長 渡辺拓道

安心・安全・環境部会 松尾徹
青木一水
長澤啓吾

元気な地域づくり部会 雪岡達也
澤敏司
北尾喜代治

地域産業・振興部会 大坪孝司
森本恵太郎
森本淑子

福祉部会 北尾充洋
長澤みさ子
中澤敬子

監事 斎藤繁雄
池田忠司

募集

- ◆ 郷づくり情報では、地域の情報を掲載します。
- ◆ 発行は年4回を予定。今回は9月1日発行です。
- ◆ イベント案内など掲載希望の方はご連絡ください。
- ◆ 連絡は事務所か渡辺まで (090-7551-8324)



（公募）

元気な地域づくり部会

活動拠点の名前をつけて下さい。

郷づくり協議会事務所が所在する、建物(旧大山保育園)の名前を皆様から公募いたします。「地域交流の場、思い出の場、自然に恵まれたふるさと大山」にふさわしいすばらしいメーミングをお待ちしています。

採用させて頂いた方1名、次点2名の方に図書券を贈呈させていただきます。

締切

7月10日

オープンの準備の関係より短期間ですがよろしく願いいたします。

669-2827

大山新80番 大山郷づくり協議会宛

生きがい ふれあい 助け合い

今年度の郷づくりの主な活動



イベント

◎ 8月20日(土) 大山地区住もう帰ろう事業
10:00~14:00 会場: 旧保育園周辺

◎ 11月13日(日) ふれあい金山登山会
会場: 金山周辺

◎ 3月18日(日) 三世代交流事業
会場: 並木道中央公園

部会事業

只今部会ごとに準備中。次回には案内できます。皆さん参加してくださいネ。

その他の事業

- ・(新規) 旧保育園舎を活用した事業
- ・(新規) 会報の発行(年4回発行)
- ・(継続) 「はなれていても大山人」事業の推進
- ・(継続) 都市部交流広場との交流
- ・(拡充) 定住促進に向けた取り組み
- ・(新規) 歴史・文化を継承する事業の検討
- ・(新規) 協議会ホームページの検討
- ・(継続) その他地域課題への取り組み

4つの部会をよろしく願いします(部会長からのメッセージ)

安心・安全・環境部会 部会長 松尾徹

このたび、協議会の再編により、「安心・安全・環境部会」でお世話になることとなりました。どうかよろしく願いします。

大山校区の防犯、防災活動を中心に進めていきたいと思えます。平成18年から大山校区まちづくり防犯グループが結成され自治会長会が中心で現在も継続されています。

防犯の基本は、「自分の身は自分で守る」ですが、地域の結束力と一人ひとりの心がけで、自分たちでまちを守る意識のもと活動を考えていきます。

また、防災についても各自自治会単位で防災マップづくりに取り組まれますようお願いいたします。今後の活動に関しまして皆様のご意見をお聞かせください。

元気な地域づくり部会 部会長 雪岡達也

当部会は、「元気な地域づくり」ということをテーマに活動してまいります。

今年度は、交流拠点完成記念交流事業の中で、アトラクションを、また、ふれあい運動会において、地域でスポーツ活動等をする団体を紹介し、競技に参加して頂く、という計画をしています。初年度ということで手探り状態の中でのスタートということになりますが、部会員一同力を合わせ頑張っていきますので、皆様方の積極的な参加をお願いいたします。



地域産業・振興部会 部会長 大坪孝司

新しくできました部会でお世話になります大坪です。大変大きな課題ではありますが、大山には昔から山があり豊かな自然や文化があります。これまでも「とふめし」の商品化やスイカまつりなどの地域のものを活かした活性化の例があります。

農地など大山の今の姿を調べ、いろいろと工夫をしながら地域の振興を考えていきたいと思っています。

地域の皆さんからのアイデアもいただきたいと思います。よろしく願いいたします。

福祉部会 部会長 北尾充洋

『福祉』という言葉は極めて多義的で、広義には「人々が幸せな状態にある」、狭義には「困窮者を幸せにする」と理解されています。かつての行政による高齢者介護サービスは措置でした。社会保障・社会福祉は保護救済から自立支援になりました、先頭バッテリーが介護保険制度でした。高齢者の自立支援は自己決定にあります。尊厳をもって最期まで(家族や地域の中で)自分らしく在りたいのはだれもの願いです。なかでもこれを妨げる認知症は高齢社会の大きな課題のひとつです。「安心して暮らせるまちづくり」、そのためには地域での支え合いが不可欠で、協力連携体制(ネットワーク)が欠かせません。再編後も今の福祉活動をもとにして部会制を機に分野間の交流(コミュニケーション)や協力の形などを整えその向上を図っていくことが大切です。皆様のご指導よろしく願いいたします。